

令和7年11月5日 公表

令和7年度 第1回グループ内取引等適正化委員会議事録

開催日及び場所	令和7年10月17日（金） 中日本高速道路株 東京支社 16階 1610会議室	
出席委員	委員長 伊達 弘彦（弁護士） 委員 相関 透（公益財団法人公正取引協会 客員研究員） 委員 皆川 勝（東京都市大学 名誉教授）	
審議対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
会社名（発注者）	抽出件数	（備考）
中日本高速道路（株）	3件	保全点検等業務・維持修繕業務、料金收受業務（子会社契約）
中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京（株）	1件	保全点検等業務（特命契約）
中日本ハイウェイ・メンテナンス東名（株）	1件	維持修繕業務（見積競争）
中日本ハイウェイ・メンテナンス中央（株）	1件	維持修繕業務（随意契約）
委員からの意見・質問、それに対する回答等	（別紙のとおり）	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	
備 考		

委員からの意見・質問、それに対する回答等

抽出案件の審議	
意見・質問	回答
<p>（1） 発注者：中日本高速道路（株） 内容：保全点検等業務 契約方法：子会社契約</p> <p>・「給与賃金改定に伴う増額」とは、子会社社員の給与の増額を意味するのか ・賃金改定の中身のチェックはしているのか ・子会社の社員に反映されているのか。 人件費を理由に契約額を増額する場合は、子会社の社員の給与が実際に増額されているかの実態確認をしたほうがよい ・NEXCO 東日本、NEXCO 西日本と賃金増額水準の連携はしているか</p>	<p>・そのとおり ・子会社の賃金を改定する場合、給与規程の改定になる。その改定内容を親会社が事前にチェックし、妥当であれば承認する仕組み ・給与規程の改正を伴うため、子会社社員の給与に反映されていることを確認している ・NEXCO 3社の連携はしておらず、競争性のある給与水準になるよう努めている</p>
<p>（2） 発注者：中日本高速道路（株） 内容：維持修繕業務 契約方法：子会社契約</p> <p>・「TN水抜きボーリング工の追加」に記載されている対外的影響の大きい事案とは何を指すのか ・「標識板取替の追加」に記載されている視認性の低下とは、経年劣化なのか納品時の品質の問題か ・設置する環境に応じて標識板の耐久性能の差はついているか ・道路利用者の事故によって損壊した構造物の復旧費用は利用者に負担を求めるのか</p>	<p>・トンネル内の路面滯水により、通行止めや大規模渋滞の発生などの影響のことを指している ・紫外線や風雨等によって塗装が経年劣化し反射性能が落ちたもの ・標識板は設置環境による差はつけていない ・事故の原因者が特定できた場合は、原因者に負担を求める。</p>
<p>（3） 発注者：中日本高速道路（株） 内容：料金収受業務 契約方法：子会社契約</p> <p>・契約金額は変更していないが、人件費の増額は子会社の申し出により行うのか</p>	<p>・人件費の増額は、子会社の申し出により行う</p>

<p>(4) 発注者：中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京（株）</p> <p>内 容：車両事故に伴う仮設発電機設置作業</p> <p>契約方法：特命契約</p>	
意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> 現場の作業は契約締結後からなのか 見積先の決定から契約締結までに20日間程度要した理由は 見積先はどのように選定したのか 	
	<ul style="list-style-type: none"> 本件は緊急を要するため、契約締結の手続きと同時に現場作業を行っており、結果として、現場作業が先になった 適正な見積期間に20日程度必要となる 複数者のうち、一番迅速に現地作業ができる者を選定した
<p>(5) 発注者：中日本ハイウェイ・メンテナンス東名（株）</p> <p>内 容：路面標示工事</p> <p>契約方法：見積競争</p>	
意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> カラーロード面標示自体はいつから行っているのか 降雪地域での耐久性は如何に 	
	<ul style="list-style-type: none"> 本件は、ETC専用化により新たに行つたもの。料金所の出口レーンなどでは、以前から行っている 除雪作業により、路面の塗装が剥がれやすくなる
<p>(6) 発注者：中日本ハイウェイ・メンテナンス中央（株）</p> <p>内 容：清掃、植栽、雪氷、緊急作業等</p> <p>契約方法：見積競争</p>	
意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> 公募で1社のみが入札したことだが、公募の時期はいつか 価格評価点100点の理由は如何に 一般的に評価点の差が出やすい項目は如何に 	
	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度である 契約目安価格よりも見積価格が安価であり、最安であったため 差が出やすいのは特定テーマに関する技術評価